

名 称	平成 27 年度 第 1 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成 27 年 10 月 29 日(水) 10:00～12:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 (公財)かわさき市民活動センター 理事長) 有元 典史 委員 (国立大学法人横浜国立大学) 三田 竜平 委員 (一般社団法人横浜青年会議所) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表兼ファシリテーター)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課 地域振興課長 名木 斉 同 生涯学習支援係長 大屋 将佐 同 生涯学習支援係 西村佳那子 同 生涯学習支援係 川満 由佳 同 生涯学習支援係 平山 啓子
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 取締役 佐久間 邦弘 アクティオ株式会社 東日本事業部 富崎 通 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 望月 智子 同 スタッフ 中村 美奈 同 スタッフ 正法 みどり
欠 席 者	山崎 滋 委員 (保土ヶ谷区町内会長連絡係 会長)	

議 題	(1)平成 27 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成 27 年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成 27 年度上期 ほどがや市民活動センター 事業報告書一覧 3.平成 27 年度上期 施設利用状況 4.平成 27 年度上期 事業報告書 5.平成 27 年度上期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成 27 年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

*会議成立 委員 6 名中、5 名が出席。

ほどがや市民活動センター評議会会則第 8 条第 2 項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H27 年度第 1 回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1)平成27年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

(1)-1

「平成27年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」について報告

- * 場の提供⇒各団体が定期的な活動を行っている為、部屋利用、機材利用、印刷機など一定のリピーターを得る事ができ、H25年、H26年、H27年と利用者数も常に上向きに推移している。H27年4月～9月、利用者数10,122名、稼働率56.9%。着実に保土ヶ谷の各団体の活動が活発に動いている証なのではと考えられる。また、活動の重要なサポートとして、館内・館外の機材貸出も、昨年は177件だったが、今年は280件の貸出があり、内外問わず、活動が活発になってきていると感じている。
- * 相談・コーディネート⇒H27年4月～9月、相談件数295件/昨年同期177件。相談件数の増加も団体の活動が活発となっている証だと考えられる。また、他の地区センター等のお祭りやイベントに出向き、アワーズのPRを続けている成果の表れではないかと考えている。今後も施設の認知度を上げていくのが大切だと考える。
- * 情報の提供⇒アワーズの広報媒体のメルマガ、ホームページ、フェイスブック、情報紙等は、広報周知として後程ご説明。その他の情報提供として、様々な施設より配架願ひも多く、アワーズに配架することにより、集客に繋がることも多いようで、他施設からの期待値も大きいのではないかと考えている。また、登録団体による人材募集の案内も掲示しており、人材募集の促進も図っている。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)稼働率が高すぎると、予約がとりづらくなるのではないかと。適正稼働率があるのではないかと。

(回答)予約がとりにくくなっているのは、現状としてあるが、抽選からあふれた団体は、他の時間帯に移動するなどに対応されている。また、貸し切りが増えてきており、今が適正なのではと感じている。

(質問)相談内容について、個人も団体も増えているのは素晴らしい。相談内容の“その他”が増えているが具体的な内容は？

(回答)シルバー人材に登録したいがどうすればよいかなど、アワーズで対応していない相談内容が多い。

(質問)保土ヶ谷区はシルバー人材センターが近いので、有償で何かをしたいという方が増えているのであれば、区としてきっちりと市民に切り分けがみえるチャートのようなカタチでやれば良いのではないかと。

商工会議所と同じようなことを、アワーズではやっていないのか？

(回答)今のところ特にやっていない。

(質問)資料3-3の内容で、特に多いのが“講座・イベントを探している”“学習や活動の場所・施設・機関・モノを探している、情報を知りたい”などがあるが、相談に対してどういった回答が成されたか、相談者の方が満足して帰られたのか、両者の満足度は大事。その辺はどうなのか？

(回答)市民局の報告にはどういった相談内容か、記入する項目があり、相談を受けた結果どう対応したかの報告義務がある。相談対応した職員がその都度入力し、毎月市民局に提出している。満足度に関しては、基本的に相談者をご納得いただけるまで対応しているので、私どもとしては満足していただけているのではと思う。また、「こんなこと聞いていいかわからないのですが」・・・と相談してくる方もおられるが、「相談して良かった」とのご意見も多くいただいている。

【委員からの意見】

・事前に利用者が予約状況を知るシステムがあれば、予約が集中せずにはばらせるのではないかと。

・商工会議所もしっかり調べておいて、シルバー人材センターへの振り分けのアドバイスができるようにしてお

いてはどうか。

- ・相談内容、その他の中にも含まれる内容を検討することで、今後センターのあり方や戦略が分析できる。
- ・情報紙の配架先が数字で載っていないので次回の時にでも追加してほしい。

(1)-2

「平成 27 年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「新たな担い手の視野を広げる」「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告

- * ボランティア入門講座⇒11月4日・11日・25日(全3回)に実施予定。
- * シニアライフ講座⇒諸事情により準備していた内容を変えて、下記に行えるかどうか検討中。
- * IT相談会⇒アワーズ登録団体の、パソコンほどがや宿との共催で、毎週金曜に開催している相談者も順調に増えている。来年度より、NPO に法人化することとなり、名称もパソコンよこはま宿に代わり、ますます活動も活発に行っている。今後とも共催事業として(IT相談会を)行っていく。
- * 団体力スキルアップ講座⇒下記開催予定。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)課題のところに、iPhone、iPad などの携帯端末の相談会なども検討する、とあるが、目標はどのくらいで考えているのか。

(回答)検討すると書いているが、月に2回は、iPhone、iPad の相談も受けている。また、パソコンほどがや宿と共催で、緊急災害を中心とした“スマホ活用術”という講座を、9月に開催した。携帯端末の方も積極的にやっつけていかなければと考えている。

(1)-3

「平成 27 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「交流の機会を創出する」「街の学習応援隊」事業を報告

- *利用者交流会⇒第1回利用者交流会では、7月25日に「ほどじゃがカレーで10周年」というイベントを開催、保土ヶ谷の地場農家のジャガイモでカレーを作り、食べながら互いの活動を話した。定員30名のところ、区長はじめ51名が参加、協働運営会議も10周年ということで賑わった会になった。
第2回は下記、10月30日に、「横浜はじめて物語」を実施予定、関内駅→馬車道→開港記念会館を中心に、横浜の“初めて”を知りながら、交流を深めようという企画。
第3回は下期、1月23日、風水害を中心とした防災の講演を開催予定。
- *協働運営会議の事務補助⇒利用者交流会・団体力スキルアップ等を含めた事務補助を実施。
- *生涯学習フォーラムへの参画⇒フォーラムや、実行委員会・役員会を実施、検討内容について参加。
11月28日・29日に実施予定。今年はアワーズ10周年、生涯学習フォーラムが15周年という節目なので、例年より一層賑やかな実施となるべく準備をしている。
- *街の学習応援隊⇒街の応援隊登録者に対する研修会、交流会は下記2月3月に実施予定。
街の学習応援隊は今年度の強化事業としてアワーズとしても力を入れてやっている。今年度の応援隊依頼は100件前後が推移しており、登録者は99名の方が登録しているが、昨年の106件という数字は、更新してから2年目の数字なので、今年の4月に登録を更新していただいた関係上、これから登録数は伸びると考えている。最近の傾向としてプロに近い方の登録が増えてきているのが良い傾向だと思う。アワーズでは応援隊登録をした際に、スタッフ全員の情報共有として、実際に演技・講座を見せてもらうことを続けているので、新たな登録者のクオリティを確認し、依頼者に具体的なお勧めができるようにしている。4月

～9月までの依頼件数 42 件、成立が 26 件、不成立は 16 件で、例年とだいたい同じ。

PR 事業・PR 展示⇒「区民ギャラリー作品展」を 8 月 24 日～9 月 1 日に開催、区役所の 1 階展示スペースにて応援隊の方々の作品を展示。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問) 交流の機会を創出する“第 1 回利用者交流会”の参加人数ですが、定員が 30 名で、51 名の参加となっているが、これには関係者も含まれているのか？

(回答) スタッフは含まれていないが、区長などは含まれている。

(質問) 街の学習応援隊の課題で、街の学習応援隊フェスタにこれ以上参加者が増えた場合、対応をどのようにして参加者を絞り込むか・・・とあるがどういう意味なのか。

(回答) 応援隊の方々の予想を上回る参加希望があり、建物と時間の制限がある中、タイムスケジュールを密に組んで実施したが、パフォーマンスなどを短く区切るには限界があり、不都合も出た。来年度以降も参加者が増えるようならどのようにすべきなのか、悩みどころではある。

(質問) 参加者を絞り方より、見せ方の改善をした方がいいのではないのか。

(回答) 検討する。

(質問) 応援隊の不成立が多いのではないのか。応援隊フェスタが PR の場としてうまくできるといいのではないのか。

(回答) 不成立の理由に、依頼者が第一希望の応援隊を強く希望している場合が多く、スケジュールが合わず、第 2 希望を勧めたとしても、納得していただけずに不成立となってしまう。あまりこだわらずに代役を希望

される依頼者の場合は第 2、第 3 希望をお勧めして成立となる。(前者が多い場合) 不成立の数を減らすのはなかなか難しい。

(質問) 平成 23 年、24 年の応援隊の依頼者件数が、平成 25 年以降から著しく減っているが何故なのか？

(回答) 減った要因として各施設の予算が減ったのか、また、応援隊の側も交通費も出ないようならお断りする場合もある。それもあり、応援隊事業を強化している。

(質問) その他に依頼が減った要因は何かあるのか。

(回答) 数字的には減ってはいるが、応援隊自体のレベルは当時よりずっと質が高くなってはいる。現在の応援隊の行っている内容と、やっておられる方々のレベルは当時より高い。もしかしたら、この当時、応援隊を依頼した方々が、(レベルの低さに) がっかりされて依頼しなくなったケースも含まれているのかもしれない。

(質問) 応援隊フェスタだが、2 日に渡って行えないのか。

(回答) 利用率が上がっている今、貸切状態が増えると、利用できない団体からクレームが出ると考えられる。そう考えると、2 日に渡って行うことが適切なのかと考えてしまうが、これ以上参加者が増えるようであれば、や

はり 2 日に渡って行うしかないかと考える。

(質問) お金が少なければ行かないという話が出たが、大きなイベントに出るといのは、無償であっても大きな PR の場でもあると思う。本来ならば、プロアマ問わず、大きなイベントは後に大きな営業に繋がることもあるので、プロでさえ少額であっても出たいという意識があるが、応援隊の認識はどうなのか。

(回答) 認識されている。登録時にも研修会でも、きちんと伝えている。

(1)-4

「平成 27 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「区民利用施設との連携」、「広報・周知」、「評価・検証」、「研修」を報告。

*各施設との連携事業⇒「今井夏祭り(今井地区センター、今井地域ケアプラザ共催)」7月19日・20日に共催事業として参加。相談ブースを設置し、アワーズ周知に努めた。また、今年度は昭和39年の東京オリンピックを記録した16mmフィルムの上映会を行った。応援隊のバルーンアートの方にも参加していただき来場者の子どもたちに無料配布を行った。

「みんなでストップ温暖化！」8月20日に、保土ヶ谷図書館・アワーズ・横浜市温暖化対策本部で、共催事業を行った。この参加者が、子育て拠点こっころとの共催事業にも、参加していただき、色々な相乗効果があった。

*ものしりサプリメント講座⇒「藍の生葉染め体験教室」7月31日に応援隊のグリーンボックス、子育て拠点こっころ、アワーズ共催で実施。アワーズで4月に藍の種を蒔き、育てた藍の生葉を使って親子で藍染を楽しんだ講座で、フェイスブックで藍の育成状況を載せていたこともあり、夏休みの親子講座はなかなか集客が難しい中10組の参加者があり、好評だった。

「ボランティア交流会」8月19日に、社会福祉協議会、子育て拠点こっころ、アワーズの共催事業で開催し

た。これは昨年のボランティア養成講座に参加された方々にご参加いただき、その後ボランティアをしている中での悩みなどの話を含めて、皆さんで交流を計った。

「楽しもう！メディカルハーブ生活」4月25日に開催、大変人気があり告知して数日で定員20名に達した。長い目を見て、事後グループ作りに繋がるようになっていければいいと考えている。アワーズを知らない参加者も多かったので周知に繋がった。

「いざという時に！災害時のためのスマホ活用法！講座」9月12日にほどがやパソコン宿と共催で実施、横浜市の総務局危機管理室から災害時に横浜で中心となってツイッターで情報を流すので、“災害時に知りたい情報がいち早く届く”ことを学ぶ講座、この講座自体、パソコンほどがや宿も初めてだった為、反省点も含めてスキルアップにも繋がった。

*情報紙・メルマガ発行⇒情報紙、年4回発行、以前から情報紙にボランティアで記者を募集してはどうか？とのご意見を頂いていたが、昨年、区の所管のはぐくみ塾にて、レポーター養成講座があり、これに参加されて、この春卒業した半数の方々が、情報紙の記者として、アワーズの登録団体の日頃の活動をレポートしていただくこととなった。月1~2回の編集会議で、取材内容の進捗状況を話し合い、現在まで2回分が掲載され、12月号、3月号の2回の取材が残っている。

メールマガジンは、毎月15日発行。現在配信数336。

*ホームページの管理・情報発信⇒ホームページの方は4月~9月までのアクセス数は47,000件。昨年と同時期とほぼ同じアクセス数であった。もう少し工夫をして、フェイスブックに繋がりたいと考えている。

フェイスブックに関しては、現在“いいね！”は34件だが、実際に見て頂いている数は1,000件ほど。アワーズが開催した講座だけではなく、アワーズが関連した講座などもフェイスブックで紹介している。更新をマメにしていくよう心がけているので、この先もっと(アワーズの)フェイスブックが広がってほしいと思う。フェイスブックは有元教授にも色々ご助言いただき、また、よく見て頂いているが、頻度に関しては、毎日更新はできない中でも、事業ごとに告知していく。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問)いいね！を貰う為に、連携事業の中でも人気のある催しの夏祭りや、パソコン教室などに来られる方

	<p>は施設にとって好意的な方が多いので、「いいね！してくれませんか？」と頼んでみたら、PRや促進に繋がるのではないかと。</p> <p>(回答)検討する。</p> <p>(質問)団体活動紹介だが、“ですます調、である調”になっているが、統一していないのか？また、団体紹介なのか、自分の体験談なのか分かりにくい。体験記ならそれでもいいが、団体の紹介であるなら、①団体の紹介②本日はこういう体験をしました。③この団体に参加する人を増やす。・・のように、活動の活性化に繋がるという目的に入れていく方がいいのではないかと。全体の字数は何字にしているのか。</p> <p>(回答)トータル 1,000 文字未満で画像が 2～3 点という決まりはある。“ですます調”については、手探りではあるが、その方の個性や表現は残しつつ修正をしている。その辺が、統一感が無いと感じる要因かもしれない。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポーターの体験記か、団体紹介なのかスタンスを決めたほうがよい。パターンを統一した方が読者が読みやすい。また、統一して行えばアワーズの団体の紹介誌になる。 ・レポーターの仕組みは素晴らしい。5 年計画でレポーターを拡大して、もう少し色々な人を巻き込めたらいいと思う。例えば保土ケ谷の歴史・文化を調べて蓄積して「保土ケ谷の百科事典」のような財産を作れば、PR にもなるのではないかとと思う
<p>議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から</p>	
	<p>「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成 25 年度上期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会 5月9日 開催。 ・拡大ミーティング 4月23日、5月26日、6月23日、7月30日、8月29日、9月29日 計6回開催 ・まなぶん祭りに参加 2日の締めには協働運営会議の上半期事業の発表を行い、その後音楽を合わせたPRを実施。 ・利用者交流会 第1弾 「ほどじゃがカレーで10周年」7月25日(土)に実施、参加者51名、協働運営会議とアワーズの10年の軌跡をパワーポイントで紹介した。 ・上期全体会開催を8月29日に開催。 <p>(今後のスケジュールとして)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者交流会 第2弾 10月30日(金)「横浜はじめて物語」を開催予定。 ・利用者交流会 第3弾 しゃべろう会は1月23日(土)開催予定。 ・団体カススキルアップ 2月27日(土) 開催予定。
<p>課題(3)評価シート記入</p>	
<p>議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が増えていることは喜ばしい。施設利用の水準をどの水準に持っていくのか到達点を定めていかないと、キャパが溢れて利用者さんが利用しにくいことになるのではないかと。 ・個人相談の年齢層は60歳以上が多く、20、30、40代の特に男性が低い。今後の方針としてシニア層を取り立てていくのか、数の少ない層を取り組んでいくのか、保土ケ谷は元気な子育て中の親子づれが多いので、そこを活かせないか検討してみてもどうか。 ・データに基づいて話をしているが、件数、人数、量的なものより、満足度や、利用者の言葉などの質的なものも入れていただけたらと思う。 	

以上